DATE

だてしん

半期ディスクロージャー誌

平成29年4月1日～9月30日

伊達信用金庫

だてしん半期ディスクロージャー

当金庫の平成29年9月期(平成29年4月1日～9月30日)における半期情報についてお知らせいたします。

なお、以下に掲げる開示項目は、当金庫任意の情報として開示しております。また、各計数については会計監査人による監査を受けておりません。

預金者別預金残高

(単位:百万円)

	平成29年3月末	平成29年9月末	増減額
個人預金	124,895	125,197	302
法人預金	22,280	23,456	1,176
金融機関預金	88	163	75
公金預金	10,346	14,048	3,702
合計	**157,610**	**162,865**	**5,255**

貸出金業種別残高

(単位:百万円)

	平成29年3月末	平成29年9月末	増減額
製造業	1,309	1,107	△202
農業、林業	46	81	35
漁業	24	22	△2
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—
建設業	4,115	4,086	△29
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—
情報通信業	14	11	△3
運輸業、郵便業	1,605	1,637	32
卸売業、小売業	2,299	2,294	△5
金融業、保険業	1,206	1,195	△11
不動産業	8,263	8,467	204
物品賃貸業	160	539	379
学術研究、専門・技術サービス業	26	27	1
宿泊業	921	1,068	147
飲食業	629	629	0
生活関連サービス業、娯楽業	939	983	44
教育、学習支援業	24	30	6
医療、福祉	1,511	1,608	97
その他のサービス	1,588	1,679	91
小計	**24,687**	**25,472**	**785**
地方公共団体	16,064	15,789	△275
個人	14,530	14,671	141
合計	**55,282**	**55,933**	**651**

損益の状況

(単位:百万円)

	平成29年3月期	平成29年9月期
業務純益	558	287
経常利益	702	327
当期純利益	757	324

金利リスクに関する事項

(単位:百万円)

運用勘定		
区分	金利リスク量	
	平成29年3月末	平成29年9月末
貸出金	413	494
有価証券	585	725
預け金	67	64
コールローン等	—	—
その他	—	—
運用勘定合計	**1,066**	**1,284**

(単位:百万円)

調達勘定		
区分	金利リスク量	
	平成29年3月末	平成29年9月末
定期性預金	△215	△239
要求払預金	△186	△217
その他	—	—
調達勘定合計	**△402**	**△457**

(単位:百万円)

銀行勘定の金利リスク	664	**826**

(注) 1. 銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの(例えば、貸出金、有価証券、預金等)が、金利ショックにより発生するリスク量を見るものです。当金庫では、金利ショックを99%タイル又は1%タイル値として銀行勘定の金利リスク量を算出しております。

2. 要求払預金の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、当金庫では、普通預金等の額の50%相当額を2.5年としてリスク量を算出しております。

3. 銀行勘定の金利リスクは、運用勘定の金利リスク量と調達勘定の金利リスク量を相殺して算出しております。

銀行勘定の金利リスク(826百万円)＝運用勘定の金利リスク量(1,284万円)＋調達勘定の金利リスク量(△457百万円)

金融再生法開示債権および同債権に対する保全状況

(単位:百万円)

区分		開示残高 (A)	保全額 (B)	担保・保証等による回収見込額 (C)	貸倒引当金 (D)	保全率(%) (B)/(A)	引当率(%) (D)/((A)-(C))
金融再生法上の不良債権	平成29年3月期	4,923	4,615	2,666	1,948	93.73	86.33
	平成29年9月期	4,719	4,489	2,482	2,006	95.13	89.73
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成29年3月期	492	492	362	129	100.00	100.00
	平成29年9月期	323	323	159	164	100.00	100.00
危険債権	平成29年3月期	3,972	3,732	1,998	1,734	93.94	87.81
	平成29年9月期	3,906	3,717	1,963	1,753	95.18	90.31
要管理債権	平成29年3月期	458	391	306	84	85.21	55.55
	平成29年9月期	489	448	359	88	91.52	68.02
正常債権	平成29年3月期	50,659					
	平成29年9月期	51,590					
合計	平成29年3月期	55,583					
	平成29年9月期	56,309					

(注) 金融再生法に基づき、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」は総与信額で開示しておりますが、「要管理債権」は貸出金のみで開示しております。なお、総与信額は貸出金、貸付有価証券、外国為替、債務保証見返、未収利息、仮払金の合計額です。

自己資本の構成に関する事項

（単位：百万円）

項　　目	平成29年3月期	経過措置による不算入額	平成29年9月期	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目(1)				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	6,474		5,794	
うち、出資金及び資本剰余金の額	3,152		3,147	
うち、利益剰余金の額	3,388		2,646	
うち、外部流出予定額(△)	62		—	
うち、上記以外に該当するものの額	△3		—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	349		329	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	349		329	
うち、適格引当金コア資本算入額	—		—	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
コア資本に係る基礎項目の額　(イ)	6,823		6,123	
コア資本に係る調整項目(2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	13	—	12	—
うち、のれんに係るものの額	—	—	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	13	—	12	—
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	—	—	—	—
適格引当金不足額	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—	—	—
前払年金費用の額	—	—	—	—
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—	—	—
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	—	—	—	—
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	—	—	—	—
特定項目に係る10パーセント基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
特定項目に係る15パーセント基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	13		12	
自己資本				
自己資本の額((イ)ー(ロ))(ハ)	6,809		6,110	
リスク・アセット等(3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	36,810		38,126	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△515		△548	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	—		—	
うち、繰延税金資産	—		—	
うち、前払年金費用	—		—	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△515		△548	
うち、上記以外に該当するものの額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	3,522		3,522	
信用リスク・アセット調整額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—		—	
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	40,333		41,649	
自己資本比率				
自己資本比率((ハ)／(ニ))	16.88%		14.67%	

(注) 1. 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

2. 平成29年7月に優先出資の買入消却(1,000百万円)を実施したことにより、自己資本比率は平成29年3月期より低下しました。なお、平成29年9月期における信金中央金庫を引受人とする発行済優先出資は3,700百万円となりました。

所要自己資本の額

（単位：百万円）

区分	平成29年3月期		平成29年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
信用リスク(イ)	36,810	1,472	38,126	1,525
オペレーショナル・リスク(ロ)	3,522	140	3,522	140
総所要自己資本額((イ)+(ロ))	**40,333**	**1,613**	**41,649**	**1,665**

（注）所要自己資本額=リスク・アセット×4%

有価証券の時価情報

(1)満期保有目的の債券

（単位：百万円）

	種　類	平成29年3月末			平成29年9月末		
		貸借対照表計上額	時　価	差　額	貸借対照表計上額	時　価	差　額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国　債	—	—	—	—	—	—
	地方債	42,760	44,379	1,619	41,866	43,261	1,395
	社　債	299	303	4	2,099	2,105	5
	その他	4,638	4,871	233	4,647	4,854	207
	小　計	**47,698**	**49,555**	**1,856**	**48,613**	**50,221**	**1,607**
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国　債	7,999	7,915	△ 84	7,999	7,919	△ 80
	地方債	1,498	1,487	△ 11	1,498	1,488	△9
	社　債	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—
	小　計	**9,498**	**9,402**	**△ 95**	**9,498**	**9,408**	**△89**
合　計		**57,196**	**58,957**	**1,760**	**58,111**	**59,629**	**1,517**

（注）1．時価は、上半期末前一週間（5営業日）の市場価格等の平均に基づいて算定された額により計上したものです。
2．上記の「その他」は、外国証券等です。
3．時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。
4．時価と貸借対照表計上額が同額の有価証券は、「時価が貸借対照表計上額を超えるもの」に含めております。

(2)その他有価証券

（単位：百万円）

	種　類	平成29年3月末			平成29年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差　額	貸借対照表計上額	取得原価	差　額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株　式	—	—	—	—	—	—
	債　券	1,126	1,087	38	1,621	1,588	33
	国　債	9	9	0	13	13	0
	地方債	—	—	—	—	—	—
	社　債	1,116	1,078	38	1,607	1,574	32
	その他	1,495	1,287	208	1,448	1,272	176
	小　計	**2,621**	**2,375**	**246**	**3,070**	**2,860**	**209**
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株　式	—	—	—	—	—	—
	債　券	901	903	△ 2	407	407	△ 0
	国　債	—	—	—	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—
	社　債	901	903	△ 2	407	407	△ 0
	その他	—	—	—	—	—	—
	小　計	**901**	**903**	**△ 2**	**407**	**407**	**△ 0**
合　計		**3,522**	**3,278**	**244**	**3,477**	**3,268**	**208**

（注）1.貸借対照表計上額は、上半期末前一週間（5営業日）の市場価格等の平均に基づいて算定された額により計上したものです。
2.上記の「その他」は、外国証券等です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(3)時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

（単位：百万円）

	平成29年3月末	平成29年9月末
非上場株式	9	9
合　計	**9**	**9**

平成29年度上期の取組みについて

取引先支援に向けた取組み

■「北海道すぐれもんShopping!!」の開設

8月1日、株式会社北海道しんきん情報サービスが信用金庫取引先の商品に限定したWebサイト（ネットショップ）を立ち上げ、パイロット金庫である当金庫からは、4先の商品を掲載しました。

これは、「いいものを作っているけれど、なかなか知れ渡らない。」と悩むお客様の商品の知名度を向上させるとともに、新たな販売ルートの確立を目指したものです。

9月末までの2か月間で400個近い商品のご注文をいただき、80万円弱の売り上げに繋がりました。興味のある方は、右記のQRコードをご利用ください。

■一般社団法人北海道中小企業家同友会西胆振支部との連携協定

当金庫は、西胆振エリアの中小企業の成長・発展ならびに地域社会の活性化に貢献することを目的に、5月22日、一般社団法人北海道中小企業家同友会西胆振支部と連携協定を締結しました。

この連携協定を契機として、中小企業の発展等を支援する取組みをさらに強力に推進してまいります。

地域の活性化に向けた取組み

■伊達市との包括連携協定

当金庫は、伊達市の指定金融機関を担うだけでなく、これまでも地方版総合戦略の策定や経済振興策の実施等で協力しておりますが、9月22日、互いの持つ経営資源を有効活用し、持続可能なまちづくりを担う人材の育成や地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、包括連携協定を締結しました。

■だてしんキッズ探検隊、小学生夏休み自由作品展の実施

8月29日、金融教育の一環として、伊達育英学園の年長者７７名を対象に金融機関の仕事に触れる「だてしんキッズ探検隊」を開催するとともに、園児たちの描いた絵画の作品を展示しました。

そのほかにも、地域貢献の一環として、虻田支店、わしべつ支店、豊浦出張所において、地元小学生が夏休みに制作した作品展を実施しました。

■Facebookページの開設

当金庫は、スマートフォンの普及やＳＮＳ利用者が増加している状況を踏まえ、当金庫と既に取引のあるお客様とのさらなる深耕を図るとともに、若年層等の新たなお客様に取引を開始いただくための情報発信源として、６月１日、Facebookページを開設しました。

当金庫の商品やキャンペーン情報に加えて、様々な地域のイベントや出来事等の情報発信を行うことで、当金庫をより身近な存在として感じていただくきっかけとしたいと考えております。

興味のある方は、P5のQRコードをご利用ください。

地域のお客様へのサービス向上に向けた取組み

■高齢者に対する「ATM振込限度額」の引き下げ

振り込め詐欺による被害が全国的に多発しており、なかでもATM操作に不慣れな高齢者がターゲットとされているため、当金庫は、9月20日よりATM振込限度額を制限しております。

具体的には、満70歳以上のお客様で、過去1年以上、キャッシュカードによる振込取引がない方について、振込限度額を「0円」に設定し、詐欺被害の未然防止に努めております。

■全国保証㈱保証付住宅ローンのキャンペーン

平成30年1月31日までに、中古住宅購入資金やリフォーム資金などを契約したお客様に対し、カタログギフト（1万円相当）を贈呈するキャンペーンを実施しております。

■《旅》友の会の実施

お客様の親睦を図ることを目的に毎年実施しております「《旅》友の会」を、今年度は『世界文化遺産「富士山」眺望スポットと富士サファリパーク3日間』として、10月16日～18日にかけて実施しており、58名のお客様に参加いただきました。

当金庫の活性化に向けた取組み

■当金庫スローガン「顧客対応断トツ」

当金庫は、お客様との強固なリレーションを構築し、営業基盤の強化を図るため、スローガンとして「顧客対応断トツ」を合言葉として掲げております。

また、その実現に向けて、職員が生き生きと働けるよう「だてしん職場力」※を定義しております。

※［だてしん職場力］

各部門における管理職のマネジメントにより、職員一人一人が「働きやすい」と感じる職場力を醸成し、上司、同僚、部下を問わず相互に尊敬・信頼できる人間関係を構築することで、各部門が、ひいては金庫全体が一丸となって「顧客対応断トツ」を実現できる総合力を発揮すること。

■「伊達信用金庫役職員集会」の実施

当金庫は、日頃の業務に対する職員への感謝や地域金融機関としての役割を理解するため、例年５月と12月に全役職員が一堂に会し、「伊達信用金庫役職員集会」を実施しております。

業績表彰や講師を招いてのセミナーの実施など、内容は多岐にのぼり、企画そのものも若手職員が行っており、職場の活性化に取り組んでおります。

■信用金庫保険窓販表彰

全国信栄懇話会では、「信用金庫保険窓販表彰制度」にもとづき保険窓販の実績を上げた信用金庫に対し、表彰を行っており、当金庫は平準払型商品部門の特別賞を受賞しました。

平成29年度上期だてしんトピックス

4月
- 伊達市商店会連合会の商店街公衆無線LAN「Wi-Fi」(ワイファイ)の運用開始
- 「第30回春一番伊達ハーフマラソン」への協賛およびボランティアへの役職員参加
- ドキュメンタリー映像「Story～地域を紡ぐ～」No1伊達信用金庫×ハンサム食堂　公開

5月
- 伊達信用金庫役職員集会の開催
- 「第43回洞爺湖マラソン」ボランティアへの役職員参加
- 北海道中小企業家同友会西胆振支部との連携協定締結

6月
- 伊達信用金庫Facebookページ開設
- 第68回通常総代会の開催
- 「信用金庫の日」に合わせたボランティア活動の実施（植栽および清掃）
- 「クオカード」プレゼント　住宅ローンキャンペーンの実施(～3/30)
- 地域農業を考える会(第4回)開催
- 「信用金庫保険窓販表彰制度」平準払型商品部門特別賞の受賞

7月
- 日本政策金融公庫との創業支援研修開催
- 「目指せ一週+ギネス！ぐるっと洞爺湖マイムマイム」への協賛および役職員参加
- 「第9回伊達おとこむちゃ祭り」への協賛および職員派遣

8月
- 北海道すぐれもんShopping開設
- 「第43回伊達武者まつり」への協賛および役職員参加ならびに同まつりＴシャツ着用
- 「2017だてしんキッズ探検隊」を伊達育英学園園児77名を対象に実施

9月
- 北海道中小企業家同友会西胆振支部との合同研修実施
- 虻田支店、わしべつ支店および豊浦出張所にて夏休み自由研究こども作品展開催
- 「第30回北海道ツーデーマーチ」への役職員参加
- 高齢者に対する「ATM振込限度額」を0円に引き下げ
- 「2017だて食のフェスティバル」への後援および職員派遣
- 伊達市との包括連携協定を締結

※詳しくは4頁をご覧ください。

だてしん「職域サポート契約」制度

当金庫と「職域サポート契約」を締結された事業所にお勤めの皆様が、各種ローンを優遇金利にてご利用いただける制度です。

当金庫専担者が、詳しい説明にお伺いします。お気軽にお問い合わせください。

※9月末現在、契約社数252先

～従業員の皆様の福利厚生に是非ご活用ください!!～

本ディスクロージャーは、ホームページにも掲載しております。

DATE 伊達信用金庫
発行/平成29年11月
企画/伊達信用金庫 総務グループ 0142-23-3536
ホームページ http://www.dateshin.jp/
Facebook https://www.facebook.com/dateshinkin/
Facebook